

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／演習 C6 (Seminars C6)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	日独における越境の文化		
担当者名 (Instructor)	吉田 治代(YOSHIDA HARUYO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	GRL3810	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2021 年度まで「演習 C6(メディア文化・ユダヤ文化)」		

授業の目標(Course Objectives)

ドイツ語圏を対象とする文化研究の分野で、卒業論文を執筆することを前提とし、自分でテーマを設定、調査・研究し、その成果を論文としてまとめ上げるための方法を実践的に学ぶ。

In the field of German cultural studies students will select their research topics, they will learn and practice investigating them and organizing their results in thesis.

授業の内容(Course Contents)

「日独における越境の文化」を大きなテーマとする C5, C6 では、ゼミ生の発表と討論を中心に授業を進めていく。ゼミ生は3年間の主体的な学びを通じて、自ら探究したいテーマを見つけ、最終的に卒業論文を執筆する。自由研究発表のみならず、全員で同じテキストを読み、特定のテーマについて共に考えるという経験も重視する。春学期には、共通テキストを分担して読んでいく。秋学期には、2年生はドイツ語文献について読解する発表を行い、3年生は、卒業論文につながるテーマについて発表を行う。4年生は両学期ともに、卒論構想について発表を行う。

共通テキストは、教員の関心領域—①20世紀のドイツ・ユダヤ思想、芸術運動、戦時と戦後の文化、②近代ヨーロッパ(ドイツ)における非西洋文化の表象や受容、ユートピア思想、コスモポリタニズム思想の系譜、③日本とドイツの交流史や日独比較対照研究—に関わるものを選ぶが、ゼミ生の研究テーマはそれに縛られる必要はない。

In both seminars C5 & C6, with a general theme “transculture in modern Germany and Japan”, students will present their own research topics and all attendees will discuss these topics. Through three years of autonomous learning seminar students find the theme they want to explore for the graduation thesis. In the spring semester students read basic literature (from the field of German cultural studies) together. In the fall semester second year students read german texts, while third year students present their research topics. Fourth year students should present their graduation thesis in both semesters.

授業計画(Course Schedule)

1. 履修上の注意・ガイダンスと導入講義(1)
2. 導入講義(2)
3. 学生発表と討議(1)
4. 学生研究発表と討議(2)
5. 学生研究発表と討議(3)
6. 学生研究発表と討議(4)
7. 学生研究発表と討議(5)
8. 学生研究発表と討議(6)
9. 学生研究発表と討議(7)
10. 学生研究発表と討議(8)
11. 学生研究発表と討議(9)
12. 学生研究発表と討議(10)
13. 学生研究発表と討議(11)
14. 学生研究発表と討議(12)

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

口頭発表は指定された期日までに概要を提出し指導を受けたうえで行う。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(35%)／プロトコル・出席および授業への積極的参加(30%)／口頭発表(35%)

正当な理由なく3回以上欠席した場合、また口頭発表を正当な理由なく欠席した場合、成績評価の対象としない。

テキスト(Textbooks)

必要に応じてプリントを配布する。

参考文献 (Readings)

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

注意事項 (Notice)